

～ボラセンからのお知らせ～

ボランティア活動募集のご案内

体を動かすことが好きな方にぴったり！！～フロアバレーのボランティア～

フロアバレーは、バレーボール（6人制）のルールを視覚障がい者向けにアレンジした、スポーツの苦手な方でも楽しめる競技です！現在一緒にプレイしてくれるボランティアさんを募集中なので、ご興味のある方はボラセンまでご連絡ください♪

一緒に汗を流
しましょう！



- 場 所：東地区体育センター（豊岡2条5丁目）
- 日 時：月1回、日曜日に開催（次回は3月5日午後1時～）
- 持ち物：上靴、軍手、飲み物

女性用リクルートスーツ一式の寄附募集のご案内

社協が支援をしている方の中で、就職活動で着用する女性用のスーツやかばん、靴などを求めている方がいます。ご寄附いただける方はぜひセンターまでご連絡ください！

*現物確認時、預かりをお断りさせていただく場合があることをご了承ください。

こんなものを募集します♪（以下の一覧は全て女性用です。）

- ・就職活動用のスーツ：サイズ11～13号
- ・スーツに合わせて着用するシャツ・ブラウス・靴（23～25cm）・かばん
- *どの物品も、汚れ・ほつれの少ない状態のもの。



メーリングリスト作成のご案内

ボラセンでは、ボランティアさんの力が必要になったときや、通信の発行時など、ボラセンの様々な情報をいち早く皆さんへお知らせするため、メーリングリストを作ります！

メールでの情報発信にご協力いただける方は、下記のアドレスへ「ボランティアセンターメーリングリスト登録希望」の件名で事務局までメールを送信してください！

尚、ボラセン登録時などに既にアドレスをお聞きした方には、自動的にメールを送信させていただきます。今後このような情報発信を希望しない方は、事務局へその旨ご返信くださいいただきますよう、よろしくお願いいたします。

ご協力お願い
します！



旭川市ボランティアセンター メールアドレス
volunteer@north.hokkai.net

旭川市ボランティアセンター問合せ先

住 所	旭川市5条通4丁目 旭川市ときわ市民ホール 1階		
電 話	21-5550	メール	volunteer@north.hokkai.net
FAX	23-0746	担 当	岡田

ボラセン通信 [平成29年1月号]

発行 旭川市ボランティアセンター

この通信では、ボラセンの取組や、他のボランティアさんが今年やった活動、現在募集中の活動など、ボランティアにまつわるさまざまな情報をお届けします！

旭川大学高等学校 インターアクトクラブの皆さん



クラブの皆さんは、高齢者向けの誕生日カードやコースターを作ってくれています！いつもありがとうございます！



**はじめに
ボランティアセンター運営委員会 委員長
～井田 俊美からのご挨拶～**

私は、ボラセン主催の「ボランティア塾生募集」という研修に参加したことをきっかけに、車いす介助や視覚障がい者の動物園案内などの活動をするようになりました。

ボランティアは、ホスピタリティ（おもてなしの心）が大切です。社会での職場、家庭、地域ではお互いのコミュニケーションが大事です。

ボランティアを難しく考えず、興味のある活動に参加してもらえればと思います。第2の人生へ一歩進むことができ、ほとんどお金もかからず、活動した後は満足度いっぱいになります。人との出会いに無駄はありません。



～ボラセンの活動紹介～

ボラセンでは、今年もさまざまな活動が行われました！

今回は、その中から一部の活動を少しだけご紹介させていただき、日ごろボラセンでどんな活動が行われているのかを知ってもらえればと思います！

活動1 南富良野町への災害支援ボランティアバスの運行 ～有限会社旭川交通さんの社会貢献～

～こんなボランティアです！～

ボラセンでは、平成28年台風10号に被災した南富良野を支援するため、10月5日(水)～7日(金)、9日(日)の4日間、有限会社旭川交通さんのご厚意で「ボランティアバス」を運行していただきました。

4日間で延べ22人に参加していただき、がれきの撤去作業など、洪水被害に遭った方々を支援しました。



～当日運行したボランティアバス～

～ご協力いただいた有限会社旭川交通 取締役 岡本 圭悟さんにお話を伺いました～

私の友人が南富良野までボランティア活動に行った話を聞き、私も以前、仕事の都合で南富良野にお世話になったので、何か恩返しができないかと考えた時、直接現地に行くことはできないが、被災地支援に赴くボランティアの送迎を担当できるのではないかと考え、運行しました。

私もこれまでさまざまなボランティア活動や社会・地域貢献活動を行ってきましたが、少しは被災された方々のお役に立てたかと思えます。無いことが一番ですが、また自然災害などにより被害が発生した際は、できる範囲ですが協力させていただきます！

活動2 障がいのある方へのお手伝いのボランティア

～こんなボランティアです！～

この事例は、居宅介護支援事業所からご相談いただいた事例です。

ご本人は、両腕両足に不自由があり、要介護5の介護認定を受けた、寝たきり状態の方で、必要な障害福祉サービスを受けるための手続きが済むまでの1か月の間、体位変換・アイス用枕の交換・水分補給のボランティア支援を行いました。



～支援をしているときの様子～

～活動されたボランティアさんの声～

ボラセンに登録はしていましたが、活動をした経験はありませんでした。最初は不安もありましたが、いざ本人さんの所に行ってお会いすると、きさくに話かけてくれる方だったので、安心して関わることができました。

今回、関わった方のように在宅で困っている方がいるんだというのも勉強になり、今後も自分のできる範囲で、できれば今回のように近隣の方へのボランティア活動に関わることができたらと思います。

活動3 ボランティア養成研修「ボラカフェ・オープン」の開催

「ボラカフェ」ってなに？

ボラカフェは、「まだボランティアはやったことがないけれど、何かやってみたい！」という方に向けて、皆さんの身近な地域にあるちょっとした困りごとをご紹介し、みんなで「自分にできること」を話し合う場です。



～ボラカフェの様子～

今年度は、春光、豊岡、末広、緑が丘の4つの地域で計7回開催、延べ73人の方に参加していただき、各地区の地域包括支援センター等に寄せられた身近な困りごとをご紹介させていただき、それらを解決するさまざまな活動につなげることができました。

活動4 「ボラカフェ」で検討した活動 ～バスの乗り方の支援～

～こんなボランティアです！～

末広地区ではボラカフェでの検討事例として、障がいがある男性へのバス利用時の同行支援の相談が寄せられました。この支援は、同行支援を通じてバスの乗り方を覚え、余暇活動やその他の行動範囲を広げることを目的としたものです。



ボラカフェの開催後、圏域内のボランティア登録者に打診をしたところ、2人の方が活動に協力してくれました。最初は支援にあたって不安な点などもありましたが、相談支援センターやグループホーム職員の方、ボラセンの職員も参加して事前打ち合わせを行いながら、本人への支援方法をみんなで話し合うことができ、みんなでバックアップする体制ができました。



～活動されたボランティアさんの声～

- 『(今回の支援を通じて)本人がバスに乗れるようになって、一人で街に行けるようになり、本やおやつを買うこと、バスの景色を楽しんでもらえるようになれば嬉しいです。もし余裕があるなら、今度は3人で飲み物を飲みながら、交流したいと思いました。障がいのある方に、みんなが積極的に温かい目でふれあうことができたらと思います。』
- 『2人で支援に入ることができたので不安はそれほどありませんでした。本人が楽しく過ごせるためのお手伝いできて、嬉しく感じます。私たちが考えている以上に障がいを抱えている方は多いので、関わりを持てることがありがたいと思いました。』